

増

え続ける医療費、町国保の現状

医療費の現状

平成20年から5年間のグラフを見ると平成23年をピークに医療費は増え続けています。平成20年と比較すると、その差約4億7千万円と急増しています。

平成22年度

約29億437万2千円

平成21年度

約27億5,168万7千円

平成20年度

約25億
7,408万2千円

平成24年度

約29億9,758万4千円

平成23年度

約30億4,785万6千円

過去5年の医療費の中で最高額

各年度の国保加入者数

9,690人

9,797人

9,728人

9,684人

9,562人

国保の医療費は、平成20年度から平成24年度までの5年間で約4億7千万円増加しています。

さらに、加入者1人あたりの医療費は、平成20年度に約26万5千円だったものが、平成24年度には約31万3千円まで増加し、わずか5年間で約4万8千円も増加しています。

この増加する医療費の影響で、国保財政上の単年度収支は、平成21年度から深刻な赤字が続いています。財政上、国保には赤字となった場合でも対応できるように財政調整基金があります。本町ではこれまで、単年度収支が赤字になった場合でも、この基金を切り崩しながら赤字財政をなんとか切り抜けてきています。

ですが、繰越金を含む基金の残高は平成20年度に約8億8千万円あったものが、5年間で半分以上減少し、平成24年度には約4億円にまで減少しています。

国保財政は赤字に